



花の便りがあちらこちらで聞かれる季節となりました。青葉をわたる風も心地よく感じられます。

今号は、3月の第1回定例議会で決定されたばかりの「茨城県平成25年度予算案」についてお伝えします。新たに予算がついた取り組みを中心に、私が注目したものを紹介します。県の予算の多くは、皆様の大切な税金から成り立っています。関心を寄せて頂きますと幸いです。

茨城県議会議員 大谷明

満員御礼



第4回県政報告会も多くの方にご来場頂きました。本当にありがとうございます。

茨城県の平成25年度予算案が決定されました

県の予算トピックス 2013

1

茨城県が新たな防災対策をはじめます



津波で道路がめくれあがったお魚市場



地割れした道路



支援物資を届けてくれた仲間たち

東日本大震災の復旧事業は平成25年度でほぼ終了予定ですが、その一方で今後注力すべきなのが、防災体制の強化です。県では震災後、防災計画の見直しを行っていましたが、今回新たに5つの対策を実施することにしました。

その中で私は3つの事業に注目しています。

一つは、「緊急輸送対策強化事業」です。これは、震災時に主要道路が通れず、物資や人材を被災地に速やかに運べなかつた反省のもと、主要道路をもう一度見直し、整備してというものです。ひたちなか市でも国道245号線が対象になっています。108億円という大きな予算が組まれています。

この二つが防災対策のハード面であるとするならば、ソフト面においても注目したい取り組みがあります。

一つは、「津波被害対策強化事業」です。茨城県は約190キロにわたる海岸線が続いています。津波の被害を再度重要視しなければなりません。

そうした中、海岸や津波遡上区域での堤防・護岸のかさ上げ、防災林の整備を行うことになりました。沿岸部にお住まいの方々々が安心して暮らせるよう、早急に着手して頂きたいと思います。(予算:25億9600万円)

もう一つ注目したのは、「津波対策強化事業」です。茨城県は約190キロにわたる海岸線が続き、津波の被害を再度重要視しなければなりません。

そうした中、海岸や津波遡上区域での堤防・護岸のかさ上げ、防災林の整備を行うことになりました。沿岸部にお住まいの方々々が安心して暮らせるよう、早急に着手して頂きたいと思います。(予算:25億9600万円)

この二つが防災対策のハード面であるとするならば、ソフト面においても注目したい取り組みがあります。

一つは、「津波被害対策強化事業」です。茨城県は約190キロにわたる海岸線が続いています。津波の被害を再度重要視しなければなりません。

そうした中、海岸や津波遡上区域での堤防・護岸のかさ上げ、防災林の整備を行うことになりました。沿岸部にお住まいの方々々が安心して暮らせるよう、早急に着手して頂きたいと思います。(予算:25億9600万円)

様々なイベントに参加

年明けから様々なイベントに参加させて頂きました。消防出初式、勝田マラソン大会、自転車ロードレース等、寒空の中明るく元気に活動される皆様にお会いし、私も元気を頂きました。



勝田駅清掃 (2/24)

いつもお世話になっている勝田駅周辺の清掃活動を行いました。この日、拾ったばこの吸い殻を数えてみると、なんと1013本！みんなの街をきれいに使いたいものです。



県政報告会実施 (2/3)

「どうなる、これからの日本政治？」というテーマで、国がどの方向に進もうとしているのか、県政がどう関わるのか、という視点でお話しました。難しいテーマながら、皆様熱心に聴いてくださいました。



大谷明の活動日記

大谷明プロフィール

- ◆ 1973(昭和48)年、ひたちなか市にて、教師の父(旧那珂湊市出身)と看護師の母(岩手県盛岡市出身)のもとに生まれる。
- ◆ 長堀小学校・勝田第一中学校・茨城高等学校・中央大学経済学部国際経済学科を卒業。
- ◆ 1995年、株式会社読売広告社に入社。13年間営業マンとして、様々な企業や自治体の課題解決の仕事に携わる。
- ◆ 2008年、松下政経塾入塾。
- ◆ 2010年、茨城県議会議員選挙にて初当選。
- ◆ 保健福祉委員会・文教警察委員会を経て、現在、農林水産委員会に所属活動中。

大谷明の「知つとこ県政座談会」に参加しませんか？

県が行っている取り組みをもっと詳しく知りたいという方はご連絡ください。関心のあるテーマに絞って頂いても構いません。「こんな要望をしたい」というご相談でも構いません。大谷明が誠心誠意お話をさせて頂きます。

【お問合せ先】
029-219-7470(大谷明事務所)



(発行) 大谷明と茨城の未来をつくる会

〒312-0043 ひたちなか市共栄町9-12-101
TEL&FAX 029-219-7470

<http://www.ohtani-akira.jp>

大谷明 検索



一般質問で在宅医療の取り組みを問う

一般質問の内容を知りたい方に、
こちらの冊子をお配りしております。

茨城県政への10の質問
はじめての一般質問録
大谷 明

4 県の予算トピックス 2013

在宅医療を進める うれしい一歩

私が一昨年の12月に、一般質問で取り上げた「在宅医療の充実、特に在宅での医療者と介護事業者との連携」について今回新たに予算化されました。

茨城県は、人口10万人あたりの在宅医療支援診療所数が5.6か所と、全国平均の10.1か所を大きく下回っています（*）。

こうした事情を踏まえ、新たに7200万円の予算をつけ、県内5か所で在宅医療のモデル事業を行うことになりました。

私の質問に答える一歩ともなり、大変うれしく思っています。茨城県でも高齢者人口は増え続けています。病気とうまく付き合えながら、自分らしく楽しみながら暮らしていくための環境整備が急務です。

「住み慣れた我が家で自分らしく過したい」という思いを当たり前に実現できる社会になるよう、今後も積極的に進めて頂きたいと思えます。

また、同じく一般質問で取り上げた「医師確保」という観点でも、「次代を担う若手医師の育成拠点づくり」が事業化され、2600万円の予算がつきました。

さらに、「医師事務作業補助者（医療クラーク）の確保事業」も、継続して5400万円が予算化されました。

医師の事務作業は大きな負担となっています。その負担を軽減することで、一人あたりの医師の仕事量を増やすことに貢献できるのではないのでしょうか。

*平成23年7月厚生労働省データ

5 県の予算トピックス 2013

銀座にオープンした 「茨城マルシェ」が好評



「茨城マルシェ」の前で、ハッスル黄門と一緒に



「茨城マルシェ」でも干し羊が大人気

茨城県の魅力の中でも、特に「食」を切り口とした魅力や情報を発信していくべきだという提言は、繰り返し県に働きかけてきたものです。

それと関連する取り組みの一つに、アンテナショップ「茨城マルシェ」があります。

昨年11月、銀座一丁目にリニューアルオープンしました。この場所は私もサラリーマン時代、食事を楽しんだエリアなのですが、「茨城マルシェ」の中でも、レストラン事業が好調で、評価も上々です。私が訪問した平日のランチタイムもほぼ満席でした。

ローズポークを使った納豆とんかつや、茨城のヒラメを使っ

た香梅焼き等、茨城の食材をかけた算したアレンジメニューも豊富で、興味をそそられます。ランチは「納豆バー」で5種類のソースを楽しめます。東京にお出かけの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

平成25年度はイベントを増やし、さらなる集客を目指す予定です。食の魅力発信のためにも、「茨城マルシェ」を積極的に活用して頂きたいと思えます。（予算：1億1300万円）

6 県の予算トピックス 2013

「プレミアム付き宿泊券」に 一言モノ申す!

震災以降、風評被害により観光客は伸び悩んでいます。そうした中、新たに宿泊観光推進事業として、5600万円の予算が計上されました。その内容は、プレミアム付き宿泊券の発行です。

「プレミアム付き宿泊券」は1枚2500円で販売されるのですが、5000円分利用できます。とてもお得なチケットではないでしょうか。

価格的な魅力付けは旅行に行ってみようという強い動機づけとなります。しかし、その後も足を運ぶリピーターになつてもらわなければ一回限りで終わってしまいます。そうなら

ないためにも、宿泊した宿で気持ちよく過ごして頂くことが重要になります。

そんな中、「おもてなしレベルアップ事業」も新たに予算化されました。30の宿泊施設で実態調査を行い、希望する施設にフオロアップ研修を実施するといふもので、その研修費用の8割を県が負担します。（予算：600万円）

宿泊客は日帰り客よりも沢山のお金を使ってくれます。県としても、その限りの取り組みを行うのではなく、中長期的な視野に立ち、各時期に必要な目的の施策が必要なのかを考えなくてはなりません。

私はサラリーマン時代、流通

7 県の予算トピックス 2013

明日のおみやげヒット商品 誕生なるか?

「地域ブランド調査2012」で、3年連続最下位だった茨城県が、46位に浮上しました。とはいってもブランド力の弱い状態は続いています。この状況を打破するため、私が県にずっと訴えてきたことがあります。

それは、今ある茨城県の魅力をあれもこれもと発信するのはなく、その中から注力したいものを決め、ブランドとして育てていく視点を持つべきではないでしょうか。

そんな中、今回新たに「いばらき農産物ブランド力強化事業」が予算化されました。

これは、農産物のブランド化を推進するため、アドバイザーを入れてもらい、重点ブランド農産物を選んでブランド育成の計画を練ろうというものです。最初の戦略を練る上で、外部のプロの視点を得ることはとても有用なことです。どういった計画が策定されるのかぜひ注目したいと思えます。（予算：800万円）

さらに、「茨城ブランド育成・販路拡大支援事業」も新しい



取り組みとして注目したいと思えます。おみやげコンクールを行い、入賞作品は販路拡大のためのアドバイスを専門家から頂けます。

おみやげとして人気が出るかどうかは、美味しさだけではありません。食やすみや配りやすさ、パッケージのデザイン等、様々な要素があります。そういった点をプロからアドバイスしてもらえれば、ありがたい機会です。明日のおみやげヒット商品が生まれるかもしれません。

おみやげは、他県の方に茨城の魅力を知って頂くよい機会です。おみやげコンクールを盛り上げてやって頂きたいと思えます。皆様もぜひ注目ください。（予算：300万円）

「プレミアム付き宿泊券」とは?

1枚2,500円で販売され、
5,000円分の利用ができる
お得なチケット

- ・お盆と年末年始を除く7～3月まで県内登録宿泊施設で利用可能
- ・1泊1人2枚（1万円分）利用可能
- ・1人8枚まで購入可能
- ・コンビニ等で購入可能

- 例えば・・・
- 1泊2食1万円の宿に家族4人で宿泊（通常） **4万円**
→（宿泊券利用） **2万円**で利用可能
 - 1泊2食1万5千円の宿に家族4人で宿泊（通常） **6万円**
→（宿泊券利用） **4万円**で利用可能